

「ブラジル国 統合自然災害リスク管理国家戦略強化プロジェクト」

- ブラジル国において、2013年7月から約4年にわたり実施中の技術協力プロジェクト(防災対策に必要な観測、予警報、リスク評価、都市計画の技術支援に係るもの)が、高評価を得て2017年11月末に終了する予定。

1) プロジェクト概要

- プロジェクト期間：約4年間(2013年7月～2017年11月)
長期専門家4名、短期専門家8名を派遣
(加えて、JICA本邦研修では計約80名もの伯国政府高官・技術者を指導)
- プロジェクト内容
 - 土砂災害に対するリスク評価やハザードマッピングなど、リスクアセスメントの能力強化
 - 土砂災害に対するリスク低減のための計画や実施の能力強化
 - 早期警報の発令の手順や災害データ収集の手法の改善
 - 土砂災害軽減のための監視・予報システムの改善
- 実施機関：ブラジル連邦政府都市省、国家統合省、科学技術革新省、鉱山動力省、各州、市
- 評価
 - ブラジルの実情に即したマニュアルの作成や、連邦政府4省庁の横断連携を強化した取組が評価され、国連笹川防災賞の優秀賞を受賞(2017年5月)
 - この他にも、サンタカタリーナ州政府の市民防御活動への貢献が評価され、勲章を受賞(2016年5月)



ブラジル国リオデジャネイロ州で発生した大規模土砂災害(2011年1月)



防災セミナーの様子

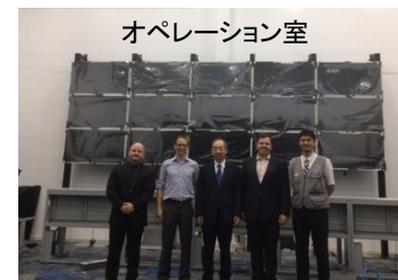
(左パネル「天災は忘れた頃にやってくる」の言葉)



サンタカタリーナ州知事より表彰

2) 防災セミナー(2017年11月7日)の開催等

- ブラジル国政府によりプロジェクトの成果の発表が行われた。また、作成したマニュアルの運用を加速化するために、ブラジル国内の関係機関が今後も協力を続けていく覚書が取り交わされた。
- 日本からは、土砂災害防止法に関する行政経験を紹介するとともに、運用の課題解決に向けた助言を行った。
- サンタカタリーナ州市民防御局オペレーションセンターの視察を行った。国交省の防災センターを参考に州が建設中。州は今後、日本の土砂災害防止法を参考に、リスクマップの作成や危機管理体制の整備を進める予定。



オペレーション室



サンタカタリーナ州市民防御局
オペレーションセンター

(参考) サンタカタリーナ州市民防衛局オペレーションセンター

- ブラジル国サンタカタリーナ州では、国交省の防災センター等をモデルとした危機管理センターを2018年3月を目途に開設予定。開所式には国交省関係者も招待される予定。
- センター建設にあたり、日本の「Bousai(防災)」の理念を尊重し、事前の予防・準備～予警報発令～災害対応～復旧・復興計画・工事の一連の災害マネジメントサイクルを包括した体制を整備予定。



オペレーション室(国交省の防災センターのように多数のモニターが設置される)



防災講堂の扉には「Bousai(防災)」の文字が掲げられる予定